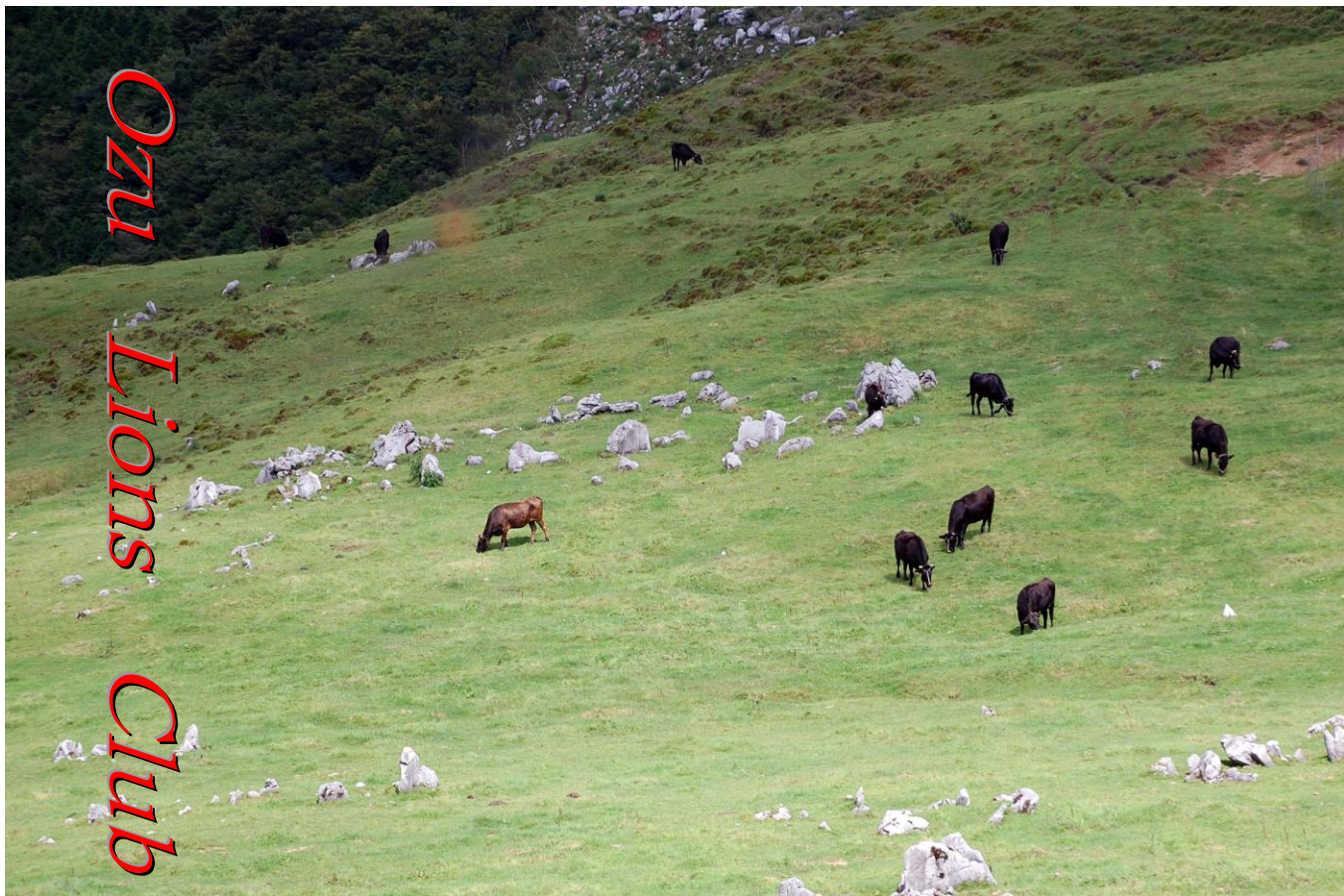


# おおず

2019～2020 年



September

2019

No.423

9

国際会長テーマ

「 We Serve 」

336-A 地区スローガン

「Service Activity is the key to Lions Clubs」

クラブ会長スローガン

「もっとボランティアを」で We Serve

# 内子LCぶどう狩り交流例会

2019.9.5. 中野吉貴

9月5日、亀田会長、寺尾12Cとともに内子ぶどう狩り例会に参加いたしました。場所は内子のふじブドウ園です。例会はちょっとしたミニゲーム、(今回はストローでの輪ゴム渡し)があり、なかなか男同士での輪ゴム渡りでドキドキしました。

その後下に移動してバーベキューです。やはり外での食事っておいしいものですね。七輪で焼くので風情もあります。

ちょうどその日はテレビ愛媛の取材もきてました、ぶどう狩りの感想などを前会長さんに取材されてました。おいしいブドウもお土産にいただき、また来年も機会があれば参加したいですね。



# 合唱団定期演奏会企画会

2019.9.14. 佐々木健一

令和元年9月14日(土) 肱南公民館において開催された大洲少年少女合唱団の定期演奏会合同企画会に兵藤団長、菊池Lと共に参加致しました。

今年度の定期演奏会は12月21日(土)に大洲市民会館中ホールで開催されます。

来年の合唱団は1月25日が大洲ライオンズクラブ 60周年記念式典、3月21日が少年少女合唱団全国大会(ゆめみかん)と大きなイベントが続くため、前倒しでの開催となりました。

クリスマスで盛り上がる時期の開催となりますので、今回はサンタクロースが登場します。(みきゃんやジッピーは出ません)。



ライオンズクラブの合唱曲も「雪山賛歌」、「よろこびの歌」など初めて歌う曲となります。

8月11日に新居浜市で開催された県大会(合唱連盟演奏会)も見に行きましたが、新しく入団した4年生の子どもたちも加わり、一丸となって元気な歌声を会場に響かせていました。子どもたちの明るい笑顔と健全な育成をサポートするのも、私たちの大切な務めです。来年の記念式典では当クラブもお世話になりますので、例年以上の多人数での合唱参加で定期演奏会を盛り上げましょう。

ライオンズ練習日…12月7日、12月14日(土)  
定期演奏会開催日…12月21日(土) 13:30～



# 合同委員会報告

2019.9.9. 沖村 忠

合同委員会が総勢23名の出席にて料苑たる井にて開催されました。



**GMT・GLT・FWT・会則委員会**とは、グローバル会員増強チーム(GMT)／グローバル指導力育成チーム(GLT)／家族及び女性チーム(FWT)／会則の委員会である。出席者は 松岡委員長・亀田会長・菊池第一副会長・矢野第二副会長・宮下歴代会長と錚々たるメンバーである、幹事の私が説明することなく、委員会は開始され、伊予長浜ライオンズの方の勧誘・現在までに候補に上がった方の再勧誘・女性候補の掘り出しと勧誘を行っていくことに決まりました。

伊予長浜ライオンズの方の勧誘・現在までに候補に上がった方の再勧誘・女性候補の掘り出しと勧誘を行っていくことに決まりました。

**財務委員会**は、脇本委員長・佐々木会計理事・矢野第二副会長・松田会計監査・須之内会計監査・古川委員の出席の下、幹事の私から今年度の予算書案を報告させていただき内容を吟味精査していただき、現状を確認していただきました。

**青少年・GTS・LCIF・ライオンズクエスト委員会**とは、青少年とライオンズクエストとは大きな意味の青少年健全育成プログラム GST(世界奉仕チーム)とLCIF(ライオンズクラブ国際財団)とは大きな意味の奉仕活動と金銭支援活動と思う。渦尻委員長・古野副委員長・村上歴代会長出席の下、本年は、大洲ホームにて奉仕活動をしよう計画に入る事と決まりました。

**環境保全・健康福祉・アラート委員会**は、弓達委員長・寺尾副委員長1ZC・兵藤歴代会長・私幹事の出席の下、例年通り、献血運動・椿の路清掃活動・ゴミゼロ運動・復興冬花火の奉仕活動を主にしていく。アラートに関しては、昨年の6月の大阪北部地震・7月の西日本豪雨災害・9月の台風21号近畿地区高潮被害・9月の北海道地震と多くの災害が起きて来た。そこで、少人数の委員会ではなく、大洲ライオンズクラブのアラートエキスパートを構成員としたアラート特別委員会の発足を提案したい。

**YCE・国際関係委員会**は、池本委員長・眞鍋委員・亀岡歴代会長の出席の下、私幹事からYCEとは、ユースキャンプ及び交換プログラム 青少年の派遣・受入事業と受入時の合同合宿プログラムの説明。国際関係 海外のクラブと姉妹提携プログラムの説明をして、今後3Rでガバナー排出時には必ず開催する事業だと報告した。

**レクリエーション委員会**は、岩田委員長・古森副委員長・小谷委員・私幹事出席の下、委員会が開催され、10月16日 ドルフィンファームしまなみ(今治市伯方島)・加計学園・亀ヶ森林道(紅葉見学)に決定した。出席希望の方は事務局までお知らせください。

## 9月卓話例会 「大洲の観光とまちづくり」

(大洲の歴史的文化財の活用を考える)

卓話／大洲市観光まちづくり課 村中氏  
要約と説明／ 会報委員会

これまで大洲の町なみや文化財の保存は、行政が中心となって保全をしてきました。その行政投資によって大洲の歴史的町並みや風景が保存されてきました。

9月の第一例会に卓話として、大洲市観光まちづくり課より河野課長さんを含め3名の皆様が、当クラブへ大洲市が進める新しい町並み保存と歴史的文化財の活用について説明にクラブ訪問をして頂きました。その卓話の要約の内容から、これから大洲市が推進する観光と町づくりの考え方が分かってきます。

今後日本が迎える少子高齢化の時代、それは大洲市にとっても同じように訪れ、人口減少が財政規模の縮小となって訪れます。町づくりを推し進めるためには保全にお金がかかります。そのため今後は、公的資金だけではなく、民間事業者の資金やノウハウを活用して町並みを残して行こうと言う考え方を新たに導入し、例えば古い町並みの活用では、建物をホテル(宿泊施設)とかショップとかに活用する事により、民間資金とノウハウを入れ、そして建物をリニューアルしながら保全して行く、単なる住宅の保全だけでなく、対外的に活用して、そしてそこに保全するための新たな資金を生んでゆく、新しいコンセプトが今回の卓話から理解出来ます。

観光客をターゲットにしたビジネスが城下町の風景を守って行く、それが今回の取り組みの中心となっています。説明によると大きく二つの計画が用意されています。一つは古い町並みの建物を改修活用することと、歴史的文化財の建物を活用して、観光客に歴史的体験をして頂くと言う二つの大きな事業の柱があります。一つ目は大洲城南下にある大正末期から昭和初期に長屋風建物を活用します。内子の上芳我邸や内子座、大洲の臥龍山荘のように、建造物が保存に値する建物というわけではありませんが、その時代の雰囲気を出すには大切な建物群であるには間違いありません。この建物ももう5年遅ければ修復は不可能になっていたと思われる。今回この建物にやっと保全活用の光が当たったことは、大変大洲のにとって良かった事の一つに挙げられると私は思います。特に大洲城の周辺のこういった建物は早く保全していければ幸いです。この建物は長屋が4軒ほど残っていて、レストランとホテルに改修するとの説明でした。もう一か所、おはなはん通りの突き当り、「村上悌二郎」住宅です。



この建物の改修にはもう二十年以上まえから保存しなくてはならないと私達も提言してきましたが、まちづくりはお金と時間がかかります。個人所有の建物に余計な介入などできませんが、今回この立派な建物が保全活用対象と言う事は大変喜ばしい事だと思います。ついでに庭も保全して欲しいものだと思います。こちらも宿泊棟やショップに改修するそうです。

さらに「いづみや別館」も修繕が必要ですが、資金がかかりすぎるので、行政・民間・金融機関の資金やファンドを立ち上げ、首都圏から資金調達をするとの計画です。こう言った町づくりをすすめて、それぞれの建物に大洲市内外の事業者の皆様が張り付くことにより、城下町の賑わいを取り戻して行きたいそうであります。二つ目の取り組みは、「大洲城」と「臥龍山荘」の歴史的



文化財の積極的活用です。これまでの文化財は保全保存が中心的な考え方でありましたが、今後はいち早く日本文化の象徴の一つとして、積極的にPRして行こうと変化して行くとの事です。これからの人口減少期及び行政の財政規模縮小との二重苦の時期を迎える時、どのようにして文化財を今後守って行くかと考えた時、積極的に活用を計ることで新たに収益を得ることが出来、それを文化財に再投資してゆく、又、文化財価値を高め、更に活用して観光客を呼び込み、見てもらう事により滞在時間を増やし、地域に落ちるお金を増やす努力を官民挙げて考えて行く町づくりを進めるとのことです。大洲城と臥龍山荘を活用すると言う事は、その時代に実際にあった事をその建物を使う事によって体験して頂くというコンセプトで進めて行きます。5月より検討委員会を立ち上げ、二

回の委員会のなかで、11月には実証実験を大洲城で始める予定であります。今回の大洲市の説明を受けて、当初大洲市内に出回っておりました、大洲城がホテルになるとか、市民の皆さんや企業の皆さんから数億の浄財が寄付されて建設された大洲城の使用 방법이間違っていると、もう少し市民の皆さんには説明期間が必要かもしれません。その鯨には大洲ライオンズクラブの名前も入っている思い入れのあるお城で、梶田與一市長のもとで復元された大切なお城です。私も当時建設に係る検討委員会の一つに委員として参加しておりました。今回、卓話をさせて頂いた、村中氏と二人で1997年に天守が復元されていた宮城県の白石市を訪問して、白石城の復元イベントにつきまして、白石市の担当の方から、説明と資料を頂いて帰りました。そして大洲城天守閣復元まで全ての「イベント実行委員長」として大勢の市民や企業の方の参加を得て、大洲市民のシンボルとしてのお城の復元に携わった事を懐かしく想いました。新たなコンセプトで大洲城の活用が進み、国内外の皆様に愛される「大洲城」として生まれ変わって頂ける事を祈っております。

会報委員会 宮下利秋

## もう一度読みたいあの記事

### ライオンズクラブ後援の児童合唱団指導者として

初村則子（静岡県・浜松ひかり LC）

浜松ライオネット児童合唱団は 1981 年、浜松市内にあった六つのライオンズクラブの後援で誕生しました。「ライオネット」という名前は「ライオンの子」という意味です。以来、ライオンズクラブがずっと変わらずに後援してくださり、現在は市内 8 ライオンズクラブが後援会組織の母体となり、理事長、副理事長、理事などもライオンズクラブのメンバーが務めてくださっています。この他、ライオンズ



浜松ライオネット児童合唱団

ズのメンバーが経営する企業が法人会員として、またメンバー自身や団員の保護者が個人会員となって、合唱団を支えてくださっています。初代理事長の故・宮澤廣士さん（浜松ホストライオンズクラブ）は当時、浜松交響楽団の理事長もされていて、音楽に造詣が深い方だったんですが、他県で開催されたライオンズクラブの大会に参加した際、子どもたちの合唱団が出演し、その演奏を聴いたことが、浜松ライオネット児童合唱団を作るきっかけになったそうです。浜松はヤマハ、カワイ、ローランドを始めとする世界的な楽器メーカーが集中し、古くから「楽器の街」と呼ばれていました。宮澤さんが理事長を務めていた浜松交響楽団は、そんな「楽器の街」から「音楽の街」へという願いから、浜松青年会議所の呼び掛けで誕生したんですが、浜松ライオネット児童合唱団も、それと同じような思いから、市内のライオンズクラブの間で創設構想が持ち上がりました。現理事長で初代事務局長を務めた久保田進吾さん（浜松南ライオンズクラブ）から、「ライオネット合唱団は市内ライオンズクラブの賛同を得て、団員 130 人を集めて創設されました。最初の演奏会で聴いた子どもたちの澄んだ歌声に胸が熱くなったのを覚えています」と、創設時の話を聞かせて頂いたことがあります。合唱団の理事長は初代の宮澤さんと 4 代目の久保田さんの間も、故・大賞英一さん（2 代目／浜松ホストライオンズクラブ）、斉藤守さん（3 代目／浜松葵ライオンズクラブ）と、代々ライオンズ



浜松市・台北市観光交流都市協定締結

5周年記念コンサート

から、「ライオネット合唱団は市内ライオンズクラブの賛同を得て、団員 130 人を集めて創設されました。最初の演奏会で聴いた子どもたちの澄んだ歌声に胸が熱くなったのを覚えています」と、創設時の話を聞かせて頂いたことがあります。合唱団の理事長は初代の宮澤さんと 4 代目の久保田さんの間も、故・大賞英一さん（2 代目／浜松ホストライオンズクラブ）、斉藤守さん（3 代目／浜松葵ライオンズクラブ）と、代々ライオンズ

クラブの方が務めてくれています。私は87年から合唱団に関わらせて頂いています。合唱団の創設に関わられた故・田村慎一さん(浜松東ライオンズクラブ)からお誘い頂き、子どもも合唱も好きでしたので、喜んでその申し出をお受けしました。子どもたちがとてもかわいいのはもちろんのこと、良きスタッフに恵まれ、ライオンズクラブや保護者の皆様の温かさに支えられて、いつの間にか30年が過ぎました。浜松ライオンズネット児童合唱団には、創設当初に定められた団の目標があります。それは、

「美しい心で合唱に励みます」

「楽しい合唱で仲良しになります」

「正しいマナーで和を広げます」

という三つです。合唱で歌が上手になるだけでなく、合唱を通して子どもたちがすくすくと成長していくことを目指しています。合唱の練習は毎週日曜日に行っていますが、毎回この誓いの言葉を唱和してから練習を始めます。これをベースとして、子どもたちは代々の先輩の行動を見て学び、例えば高校生が園児や小学校低学年の子どもたちの面倒を見るなど、年齢を超えた仲の良さが、この合唱団の特長となっています。もう一つ、ライオンズクラブが後援していることで恵まれているのが、発表の場です。普通の児童合唱団に比べ、外部での演奏体験が非常に多いんです。ライオンズクラブの例会などに招かれ、皆さんの前で歌う機会を得ています。特にクリスマス・シーズンにはライオンズクラブを始めあちこちからお声掛け頂き、毎日のようにコンサートをしています。



私が所属している浜松ひかりライオンズクラブでは毎年「ひかりチャリティー・コンサート」を開催していますが、これにも出演させてもらっています。これは浜松ゆかりの音楽家によるコンサートで、収益の一部をアイバンクや日本盲導犬協会に寄付したり、被災地のライオンズクラブなどを通じて復興支援金をお届けしたりしています。プロの音楽家と一緒にステージに立つことは、子どもたちにとって大きな刺激になっています。

また、創設に関わった方たちは当初から、海外で公演をするような合唱団を作ろうと考えておられたようで、私が指導者として加わった半年後に初の海外公演をアメリカで行いました。当時はまだ児童合唱団が海外で公演することが珍しい時代でしたが、これもライオンズの方が、アメリカの知人を通じてロサンゼルス「二世ウィーク日本祭」に出演しないかとの話を持って来られたのがきっかけでした。当時、団員は110人いたんですが、アメリカ公演には50人が参加し、ロサンゼルス「二世ウィークコンサート」を開きました。



この他にも、ロサンゼルス老人ホームを訪問して歌を披露したり、サンフランシスコにあったトヨタとゼネラルモーターズの合併工場でコンサートを開いたりして、1週間のコンサートツアーを実施しました。その後も、イタリア、オーストラリア、オーストリア、スイス、チェコ、ドイツ、ポーランド、そして昨年の台湾と、何度も海外公演を経験しています。合唱は言葉を伴う音楽ですが、子どもたちに言葉の壁はありません。人間形成にとって大変貴重な経験となるため、団員として所属している間に一度は海外公演に連れて行ってあげたいと思っています。そのため、5年に1回ぐらいを目標に公演をしています。台北公演の際には、現地のライオンズクラブの方とも交流させて頂くなど、ライオンズクラブが国際組織であることを実感致しました。

合唱団を指導していて一番うれしいのは、子どもたちが生き生きしている姿を見ることです。子どもたちの力は本当にすごいです。子どもはみんな天才だと思います。目標に向かうと力が何倍にも発揮され、本番が一番良い演奏だったということがよくあります。子どもたちが充実した笑顔で演奏してくれたら最高ですね。浜松ライオネット児童合唱団は近々、創設40周年を迎えます。2020年4月5日にはその記念コンサートを行います。現在オリジナルの曲を作詩家と作曲家に委嘱しており、その場で発表する予定です。これからも美しい心、楽しい合唱、正しいマナーの三つの目標の下、子どもたちの笑顔を引き出せるようがんばっていきたいと思います。



初村則子先生

浜松ライオネット児童合唱団公式サイト:<http://www.lionet.cc/>

2019.09 更新(取材・構成/鈴木秀晃)

はつむら・のりこ 浜松市生まれ。武蔵野音楽大学声楽科卒業。87年、浜松ライオネット児童合唱団の指導者として迎えられ、2001年から合唱団団長を務める。浜松市アクトシティ音楽院音楽指導者及び合唱セミナー講師として市内小・中学校で合唱を指導。浜松学院大学短期大学部非常勤講師。浜松市合唱連盟副理事長。日本合唱指揮者協会会員。

10年2月浜松ひかりライオンズクラブ入会。17-18年度クラブ会長。



## 大洲の昔懐かしい町並みや風景



常磐町商店街



肱川橋たもとでの  
大名行列



大洲市上空写真

さて、これらは  
いつ頃の写真でしょう？

# アラートについて考えよう

## 「アラート」とはどんな意味を持つのでしょうか？

簡単に言えば“警報を鳴らす”、“警告する”、最近のライオンズでは広くとらえれば「緊急対応」ということを表すことが多いようです。これまで思い浮かぶところで日本が経験してきた阪神大震災や東日本大震災からの教訓や、近年の噴火に伴う被害や大雨による土石流、そしてネパールの大地震なども含めて、今現在続く支援の在り方などについて、被災地を中心とした地域でフォーラム等も開かれ、関心を集めています。

## 地区委員会の中の「アラート委員会の活動」

地区委員会の基本的な役割は、クラブに対して、啓蒙活動を行うことです。

単一の「ライオンズクラブ」は、災害が起きれば物資を送ったり、支援金を送ったり、また自分のごく身近なところで災害が起きた時、メンバーが奉仕できる状態であれば被害の起きたところで様々な支援活動などもするということが、具体的対応といえるでしょう。

これまでの各地の災害でも、被災地のライオンズクラブと姉妹提携をしたりしているクラブは、提携先のクラブに独自に見舞金などを送ることもありましたね。

アラート委員会の活動は、今後、そういった支援方法について広く学習会をしたり、「防災・減災」活動について調べ、啓蒙を行うことに焦点を絞って活動していきます。

自分の居住する地域が大災害の際など、LCIFからの交付金を受けたとしても、また、よその地区から見舞いを受けたとしても、災害地のライオンズクラブは、その地の居住者同様、メンバーも被災していることがほとんどです。

周りからの支援を受ける「被災地ライオンズの受け入れ態勢」が素早く整わなければ、その支援は活かすことができません。

これまで被災したことのある地域が中心となり、フォーラム等が開かれ、ライオンズはどうしたらいいかと考える機会が設けられていますが、いろいろな意見は出て、皆で考える意義はあるものの、ライオンズのスタンスはなかなか決められません。

それは、起きた災害の種類や、その土地ごとの現状も違うので、当たり前ではありますが、止められない天災を唯一、ライオンズらしいやり方で被害を縮小することができます。

それが「防災・減災」活動であり、これが一旦整うと、「支援する立場」になっても、「支援を受け入れる立場」になっても、どうにか地域の皆さんを救う一助ができるのです。

**クラブの「アラート活動」をここで考え、地域の一助を担えるライオンズになりましょう。**  
**☆参考になる事例は下記の通りです。**

1. 各クラブの地域にある避難所・地域内の看板設置や、そうした避難所の現状設備のPR
2. 各クラブの地域にある自治体組織(町内会等)と共同で避難訓練を行う。
3. 防災・減災のイベントを行う、又は参加する(防災グッズや減災の知恵などの勉強会等)
4. 幼稚園・保育園・小学校などに防災グッズ寄付(防災ずきん、ヘルメット、IDカード入れ等)
5. 小中学生の防災・減災に関する作文コンクールや発明コンクール等
6. 地域のお年寄りを対象に、避難訓練や「イザというとき」の学習会
7. お年寄り対象やけが人が出た場合の緊急対応について学習会や避難方法等
8. 行政で利用できる防災・減災についての施設や利用状況、又は制度などを調査しPR
9. 町内の清掃活動をまめに行い、危険な場所や設備の点検まで行っておくこと

**ライオンズクラブのアラート活動は、ライオンズの制約の中で、まず会員個々の安全に留意して行われなければならない、一義的な組織とは違う方法で、「地域の一助」となることが重要なのです。**

最近のソーシャルメディアの発達は、本当に著しくいろんな事項に利用されていて、大変便利なことも多いですが、ライオンズクラブにおいては、その「情報の利用」に気をつけなくてはならないことがひとつあります。

それは、「ソーシャルメディアで寄付を募ってはいけない」ということです。

われわれの「ライオンズクラブ国際協会」は奉仕団体として、認知されており、社会的に会計などの報告も明確にされ、特にLCIFは2007年に世界一のNGO（非政府組織）として表彰されています。奉仕活動を行うと共に、一般社会への説明責任の遂行が認められ、初めてこうした評価を受けることになるからです。

残念ながら、ソーシャルメディアでは、現時点では第三者によって悪用されることもあり、また、内容はいいことではあるのだけれど伝聞の伝聞で、どこかの時点で内容に間違いが生じたり、実際には発信責任者がはっきりしないなど、組織としてははっきりできない支援の配信や報告の利用については、公的には認められないのが現状です。

支援の際に、そうした情報を使うことがあれば、クラブ及び利用者の責任において、すべて行うことが大前提です。

ソーシャルメディアのそういった点もあることをよく理解して、相手のはっきりした情報を確実に選択し、社会的説明責任の持てる奉仕活動に活かすためには、まだまだ時間がかかるかもしれません。もちろん、社会的PRには大変有効な手段ですので、日頃の奉仕活動の記事や、ライオンズのニュース的な利用は大いに推奨いたします。

## 2019~2020 年度 336-A地区 クラブ周年記念行事予定

年	月	日	曜日	行事名	場所	出席者
2019	10	12	土	周年記念行事 高知鷹城LC 60周年		高岡G、澤田幹事
2019	10	27	日	周年記念行事 土佐清水LC 55周年	足摺テルメ	橋本
2019	10	27	日	周年記念行事 高知北LC 65周年	城西館	酒井
2019	10	27	日	周年記念行事 こんびらLC 40周年	琴参閣	高岡G、澤田幹事
2019	12	7	土	周年記念行事 宇和LC 60周年	西予市宇和文化会館	
2019	12	15	日	周年記念行事 徳島やまももLC 10周年	阿波観光ホテル	
2020	1	25	土	周年記念行事 大洲LC 60周年	料苑たる井	
2020	2	23	日	周年記念 北島LC 30周年	ホテルクレメント徳島	
2020	3	7	土	周年記念行事 川之江中央LC 30周年	ホテルグランフォーレ	
2020	3	28	土	周年記念行事 松山東LC 50周年	ANAクラウンプラザホテル松山	
2020	3	29	日	周年記念行事 高松屋島LC 55周年	高松国際ホテル	
2020	3	29	日	周年記念行事 坂出シニアLC 10周年	坂出グランドホテル	
2020	3	29	日	周年記念行事 四国中央法皇LC 40周年	ホテルグランフォーレ	
2020	4	18	土	周年記念行事 坂出LC 60周年	坂出グランドホテル	
2020	4	18	土	周年記念行事 高松北LC 55周年	式典なし	
2020	4	25	土	周年記念行事 西条石鎚LC 30周年	歓喜庵	
2020	5	26	火	周年記念行事 松山中央LC 55周年	ANAクラウンプラザホテル松山	
				※ その他の周年:高松東LC 55周年 式典 未定		
				高松フェニックス 5周年 式典 未定		



## ドネーションありがとうございます (2019.8/30.-9.13.)

ライオンズのこと、個人的なこと、身の回りに起こったことへの  
感謝、報告、幸せをドネーションで共有しましょう！

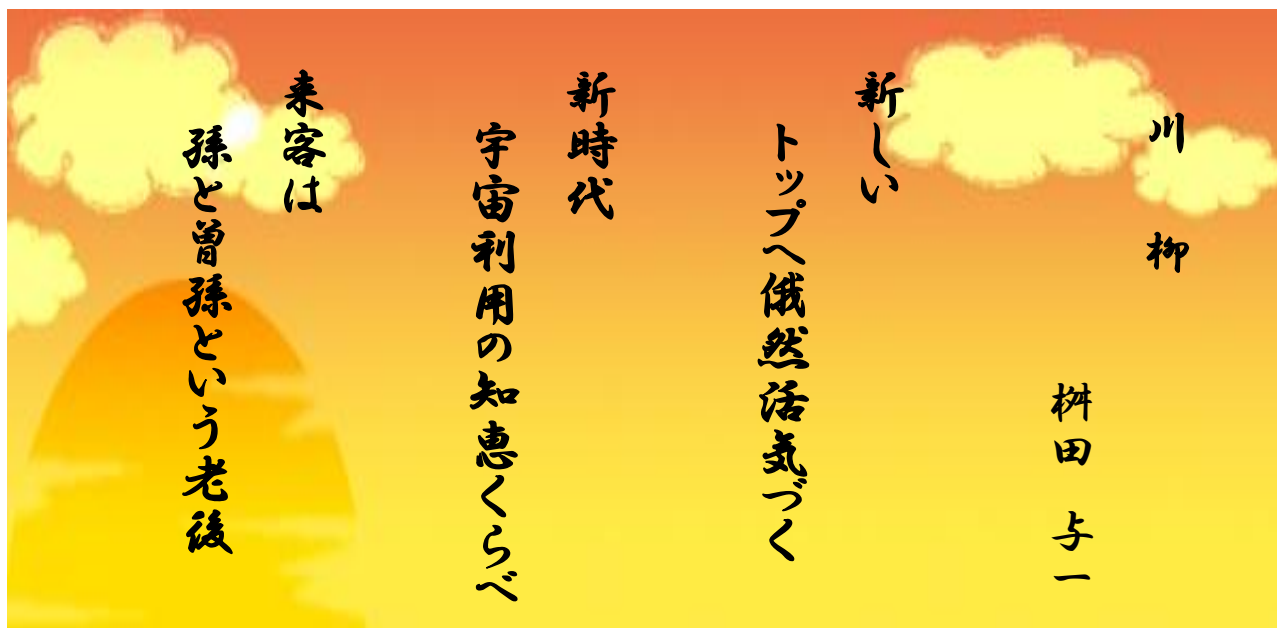
8/30	古森	中国の武陵源へ行ってきました。映画「アバター」の背景になった場所です
	佐々木	明日から、東京です、GW以来です
	亀田	当店のお客様にはイケメンが多く、大体好青年ですが、考えが甘いです
	沖村	今年もよさこい沢山の方と楽しくお話ができました
	中野	亀田会長、沖村幹事はじめ有志の方々よさこいボランティアお疲れ様
	久保	台風被害なくて、よかったですね
	富永	今日もおいしく頂きます。いもたき初煮会残念でした
	眞鍋	いもたき初煮会 楽しみです
	洲之内	外で初煮会が出来なくて残念です
	松岡	
9/13	3RC	例会訪問ドネーション
	松岡	多数のドネーションお願いいたします
	弓達	今日は仲秋の名月です 楽しく月が観れますように
	中野	妻の誕生日にお花を頂きましてありがとうございました
	亀岡	10/13に松本零士先生が来られ銀河鉄道999のイベントがあります
	宮下	明日から日田に行って鶺鴒いの視察をしてきます
	矢野	ドネーションは会員相互間の近況を知りあう意味もあります、積極的にお願いします
	亀田	合同委員会への多数の参加ありがとうございました
	菊池	特に報告することはありません、平凡な日々です
	沖村	11日から12日まで徳島で固定資産税評価委員の勉強会にいきました
	沖村	二人目の孫が11日に生まれました。男の子です、うれしいです

ドリンクドネーション

8/30 8月第2例会

ドリンクドネーション ご協力  
ありがとうございます❤️

眞鍋	宮下	矢野
池本	濱田	沖村
兵藤	亀岡	亀田



#### 編集後記

クラブの新年度が始まって 3 カ月、今年の夏はまたまた台風によって全国的に災害が起っています。毎年記録的な風水害が日本各地で多くの被災者を生んでいます。

来年 2020 年はオリンピックの年ですが、そのオリンピック開催中に今年の様な風速 50m 級の台風が関東を直撃したなら、世界中から集

まった外国の方達は誰が守ってくれるのでしょうか。ライオンズクラブのアラートについて、会報 9 月号では取り上げています。地球温暖化が進む中、また大洲にも災害がいつでも襲い掛かってくるでしょう。備えあれば憂いなしの精神で対策を真剣に考えましょう。

#### 表紙の写真 / 「四国カルスト」

宮下 利秋(撮影者)

四国カルストの最大の見所は二つのポイントに凝集されます。それがまるで天空の城のような雄大な絶景と、放牧されている牛などによる牧歌的な風景です。特に標高 1400 メートルクラスの地形では、雲が間近に見ることが出来るため、他では味わうことが出来ない不思議な印象を受けます。また、このエリアは牧草地帯としても有名で、冬で雪が降り積もる 4 月から 10 月までの期間は、多数の牛が放牧されており、ポイントによっては目の前で牛を見ることもできるのです。これからご紹介するさまざまなポイントで、こうした絶景と牧歌的風景が広がります。